

## 次号予告

### 特集 次世代道路交通システム—ITS—

ITSシステムアーキテクチャーとシステム記述言語 .....	藤井治樹 (自動車走行電子技術協会)
	長坂康司 (日本電気)
ナビゲーションシステムと経路探索 .....	天目健二 (住友電気工業)
ドライバーのストラテジーと車載情報システム .....	大門 樹 (慶應義塾大学)
ITSを基盤としたSCMの展望 .....	郭 衛宏 (秋田県立大学)
交通需要マネジメント (TDM) と ITS .....	久保田尚 (埼玉大学)

### 編集後記

● 20世紀も残り6カ月となりました。ネットワーク時代を迎え、従来とまったく異なる新しいビジネスモデルが数多く誕生しています。世の中では、耳を疑うような暗いニュースも流れています。人にやさしい輝ける21世紀の幕開けを期待しています。

● 今回の特集は、「スケジューリングの革新的アルゴリズム—ラグランジュ分解・調整法」です。スケジューリング自身は、昔から様々な手法で検討されています。最近よく聞かれるSCM(サプライチェーンマネジメント)の1要素としてますます重要性が増してきています。ラグランジュ分解・調整法も昔からある手法です。スケジューリング問題の中の動的問題(データの一部分が作成時に未知であったり、変更される問題)に適用すると有効であることが示されています。実際の問題では、この種の問題は多いです。途中でオ

ーダの追加や変更があるような問題への適用を検討してみるとおもしろいと思いました。従来からあるOR手法の現在問題となっている部分への適用検討も必要と思いました。今後もスケジューリングの新たなアルゴリズムの出現に期待したいと思います。

● 最近ASP(アプリケーションサービスプロバイダ)がさかんです。スケジューリングのように変化の激しい分野では、ユーザにとってASPの利用は有効です。入力条件さえ与えれば、その時点で最適な手法でスケジューリング作成を行ってくれるサービスが考えられます。今後ますますサービスメニューが充実してくるでしょう。

● それにしても、OR手法の適用範囲の広さには、驚かされます。今後、どんな特集が組まれるかご期待ください。(原 裕淳)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 田口 東(中央大学)

委員 北澤英理子(東京ガス株)、栗田 治(慶應義塾大学)、猿渡康文(筑波大学)、椎名孝之(財電力中央研究所)、繁野麻衣子(筑波大学)、清水康司(青山学院大学)、田村明久(京都大学)、中川慶一郎(株NTTデータ)、原 裕淳(株東芝)、平山克己(住友金属システム開発株)、松村良平(東京工業大学)、宮崎知明(富士通株)、山下英明(東北大学)、吉野秀明(日本電信電話株)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成12年6月号 第45巻 第6号 通巻474号

代表者 水野 幸男

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113-0032

編集人 田口 東

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

### ●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

### ●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ